

第289回 益田掃除に学ぶ会 お掃除通信

<b>1、代表世話人挨拶 山崎純</b>
予定をしていました小野中学校の寺戸校長先生から電話を頂き
今月中はコロナで郵便者出入り禁止になり、急遽こちらのトイレに
なりました20数年前にこちらのトイレ掃除をした記憶がありますが
その時は手すりを磨いたことを覚えております。
蟠竜湖は何万年か前に砂丘にできた珍しい湖だそうです。
こうして掃除をさせて頂くことによって地域が少しでも良くなり
綺麗になって皆さんに喜んで頂ければ嬉しいと思います
<b>2、体験感想発表</b>
<b>・大谷 宏明さん(益田市・タイピック)</b>
今日は久しぶりの掃除でした。女子の大便器を担当しましたが
とっても綺麗で手間はかかりませんでした、床の水の流れが
悪く便器に流れ込み溜まるのをそれを止める為にタオルで吸い
上げる作業が少し大変でした。次回も参加したいと思います
<b>・岡本 昇太さん(浜田市・キヌヤ)</b>
今日は身障者用のトイレの掃除でした。結構水垢が線になって
残っており、それを落とすのに時間がかかりました。それと
あちらこちらにタバコの吸い殻が結構あって問題と思います
<b>・松崎 純次さん(益田市)</b>
ここのトイレを管理されている三光ビルさんの掃除の仕方について
見直しました。全体的に掃除が行き届いていて綺麗でした
しかし、棧の上はさすがに汚れていて、タオルが真っ黒になりました
今、退職して4か月経ちますが、やることも多いのですが、逆に
明日もあると思うと延び延びになります。気楽にやっています
<b>・福元 正敏さん(浜田市・しまや)</b>
久しぶりに参加しましたが、準備もせず、片付けもしないで掃除だけ
できることがこんなに楽なことは思いませんでした

<b>2、体験感想発表</b>
<b>・田村 勝則さん(益田市・日の丸)</b>
久振りに参加しました。何をしていたのか、あっちを見、こっちを見て
終わりました。チャンと掃除をしないとイケないと感じます
<b>・森 直雄さん(キューサイファーム鳥根)</b>
今日は大便器を担当しましたが、とっても綺麗で手ごたえがありませんでした
今日は鹿野の中西さんの所も掃除の会をされていますが、防府の息子に
参加するようにと話しておきましたが、多分今の時間掃除をしているのではと
想像しております
<b>・山崎 純さん(益田市・キヌヤ)</b>
皆さんお疲れ様でした。20数年前にできたトイレには綺麗です
手の入れ方によってこれだけ綺麗にされていることは、蟠竜湖文太郎の
山下さん、又三光ビルさんの管理が良かったからだと思います。
維持管理の大切さを感じました。先月皆さんと会えなくて、今日こうして
会えて一緒に掃除をできたことはとても嬉しいことです
<b>&lt;事務局より&gt;</b>
8月、9月と急に全国的にもコロナの感染者が広がり、益田のような人口の
少ない田舎でも毎日のように感染者が出て、多い時は1日10名とかありました
急な感染者の拡大で8月については休会としましたが、今月は少し下火に
なってきたので、学校関係は関係者以外の立ち入り禁止ということもあり
こうして急遽公衆トイレをさせて頂くことになりました。
来月10月から来年の2月までは小中学校を予定させて頂いておりますが
毎月の状況も変わってくると思いますので、その都度検討をしながら決めて
行きたいと思えます。出来るだけ皆さんには早くお知らせいたします。
引き続き皆さんのご協力をよろしくお願い致します

<b>4、健山秀三郎相談役 一日一話より抜粋</b>
<b>掃除の範囲</b>
会社周辺、約三キロメートル範囲の道路や公園を毎日掃除しています。
時には橋の下の河川敷や道路下のフェンスで囲まれた資材置き場の中まですることがあります。
「掃除をする広さが、その人の人格に比例する」と言われたのは櫻沢如一先生です。
できれば、掃除を通して自分と社員の人格も広げられればいいと思っています。
<b>売れ続ける商品</b>
どの会社も扱わなかった商品を、私一人が取り上げ、四十年過ぎた今でも売れ続けた
商品があります。変化の激しい中で、注目すべき事実ではないでしょうか。
大切なことは「売れない」と努力もしないで諦めるのではなく、その商品の命を引き出すことだと思います。
商品というものは、自分の心も次第でいかようにもなるものです。
<b>5、森信三先生の教え 一語千鈞より</b>
<b>所照の自覚</b>
・真に生き甲斐のある人生の生き方とは、つねに自己に与えられているマイナス面を、プラスに
反転させて生きることである
・礼拝とは、1)首を垂れること 2)瞑目すること 3)両手の掌を胸の辺りで合わせる
という三要素。最も簡易にして、かつ最も普遍的な宗教的といつてよいが、いずれも人をして
相対を超えしめる具体的方案といつてよい
・立腰と念仏の相即一体は宗教の極致。即ち自・他力の相即一体感であって、いずれか一方に
固定化する立場もあるが、両者の動的統一がのぞましい
<b>6・平澤 興先生語録より</b>
<b>平澤 興 一日一言より</b>
・顔は心の窓というが、笑顔であいさつするには少なくとも三つのものが要る。即ち美しい心と、正しい心と
強い心である。心がにごっていたりまちがっていたり、自分の気持ちに勝てないようでは、
美しい笑顔は持てない
・どんな場合にも、えがおで貫き通せるようになれば、それは信仰者の一つの姿を
具体的に身につけたとも言われよう